

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～25 台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---シケの日が多く出漁日数が少なかった。西彼地区では、ウルメイワシが1日1統当たり33トンの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げで、前週の38%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり21kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり12kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。

定置網----対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり170kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり403kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり158kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/29～7/3の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、輪島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>